

## 令和2年第9回真庭市教育委員会会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	令和2年7月16日(木)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	9:30
	閉会時刻	11:25
場所	真庭市本庁舎3階 会議室1	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 徳山 周一	
会議録作成者	教育総務課 主査 松尾 美由貴	

### 1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ツ 宗 宏	
教育長職務代理者	井 口 利 美	
委 員	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	

### 2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	赤 田 憲 昭	
教育総務課長	美 甘 英 之	
学校教育課長	橋 本 祐 一	
生涯学習課課長	佐 山 宣 夫	
図書館振興室長	谷 岡 理 江	
学校教育課総括参事	秋 元 紀 幸	
教育総務課主査	松 尾 美由貴	

### 3 傍聴人

3名

#### 4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	三ツ教育長
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	徳山委員
第 3	教育長諸報告	赤田教育次長
第 4	協議事項	
	令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について	
第 5	その他	
第 6	閉 会	

◆午前9時30分 開会

## 5 議事の概要

### ○三ツ教育長

それでは改めまして、おはようございます。今日は傍聴ということで3名の方が来てくださっています。お知らせをいたします。これから第9回真庭市教育委員会を開催いたします。以下日程に従って進めてまいります。

日程第1、教育長あいさつということで、あいさつを申し上げます。

豪雨が今年もやってきました。何十年に一度と言われていましたがたくさんの被害が各地域で起こっています。本当に被災された方々にはお見舞いを申し上げますとともに、これは日本だけの話ではなく地球全体が悲鳴をあげている、ある意味人間の在り方が問われているのかなと改めて感じております。

そのような中、真庭市の小中学校においては今週いっぱい1学期が終了という状況になります。コロナ禍にあって様々な制限の中ではあったんですけども、何とか可能な限り日常を維持しつつ今を迎えているところであります。

もちろん関係者の努力ということもありますが、人口が密集でない、自然が豊かである、地域コミュニティが生きている、ある意味、コロナ禍にあって真庭のポテンシャルを示しつつ、教育活動が行われていると感じております。これを活かしていきたいと思っております。

同時に、時々学校にお邪魔するんですが学校教育とはどういうものなのかということを改めて考えなければいけないと感じております。密集・密接と言われますが、子どもたちは例えば新しい発見があったときは声を出します。すると、どうしても子どもたちは頭寄せ合ってくるんです。そこで対話も生まれるし、発見や気づきも生まれる。そういうことが学校なんだろうと思います。ある子どもが一輪車の練習をしていたら、そこに寄ってきて手をつないで、手助けをする。そして何メートルか進んだら周りの子どもたちが集まってきて拍手をして応援をする。これは密なんだと思いますが、そういうことを抜きにして教育って成り立つのかということも考えます。もしそこで密接はだめだとすると、子ども同士の学びが止まってしまうだろうと感じています。

子どもは子どもの中で育つという環境を丸ごと受け止めて、守っていくのが我々の仕事であるし、社会のポテンシャルであると考えています。本当は悩むことばかりで、今も修学旅行をどうするのか問題になっています。学校も密を避けるために参観日をやめると、たくさんの批判を受けます。参観日をやりますと、なぜするんだという批判を受けます。全てが判断なんです。でも、何が大事なのかということ、今こそ考えるべきだと強く感じています。子どもたちが子どもの中で学び育つ、それを守っていく真庭市でありたいと願っています。

今日は子どもたちの学びを支える大きな教材である教科書について、1種選定に向けた協議をしていただくことになっています。本当にたくさんの資料を持って帰っていただき研究していただいたのですが、どうぞ委員の皆さん、忌憚のない意見でいい教材を選んでいけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

それでは、日程第2署名委員の指名についてですが、今日は徳山委員さん、お願いします。

○徳山委員

はい。

○三ツ教育長

続いて日程第3、教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○赤田教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

報告をさせていただきました。委員の皆さんから御質問、御意見ありますか。

○徳山委員

議会質問の中の「GIGA スクールのWi-Fiを避難先に使えないか」ということに、確かにそうだなと思ったのですが、ハード的に切り替えることができるのか、また人数が多くなると思うので、そのような時に対応ができるのか、新たに機械を設置しなければいけないのか教えてください。

○橋本学校教育課長

基本的には、体育館での利用を考えています。これは通常のGIGAスクール構想で設置するアクセスポイントを切り替えで対応できるということで、新たな機械の設置などは不要であるということです。こちら側のパソコン操作で切り替えることができるということで、そのような運用を考えています。費用面では追加費用がかからないということです。

接続台数については、もともとGIGAスクールで児童生徒ひとりが一つずつパソコンを使うぐらいのことを考えてネットワークを構築しているので、かなりの台数は接続できると考えています。

#### ○三ツ教育長

よろしいでしょうか。いわゆる VLAN です。ネットワークを切り分けるというだけです。ほかにありますか。よろしいですか。

それでは続いて、日程第4です。研究いただいたと思いますが、協議事項、令和3年度使用中学校教科用図書の採択について、概要説明を事務局からお願いいたします。

#### ○秋元総括参事

事前説明として、この後の協議について少し説明いたします。教育委員会で教科書の1種選定に関わる協議をいただく件ですが、「研究報告書」を本日手元に資料として配らせていただいております。事前に見ていただいた教科書見本をもとに御協議いただき、子どもたちに望ましい教科書を選定願いたいと存じます。なお、採択期間は8月31日までとなっております、この間静ひつな環境で採択を行う必要があることから、8月31日までは情報の公開を控えていただきますようお願いいたします。傍聴される方々も同様をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

#### ○橋本学校教育課長

それでは、令和3年度使用中学校教科用図書全種目の採択について、今年度は令和3年度から使用する中学校全種目の採択年度になっていることから、教科書選定委員会等の調査研究および報告を受けて、当市の1種選定のための協議をしていただきます。

#### ○秋元総括参事

経過報告から説明させていただきます。お手元の資料をご覧ください。資料1学校教育課と右肩にあります、「教科書採択に関わる真庭市教育委員会開催要項」をご覧ください。これまでの経過については要項の1ページのとおりです。本日は時間の都合上、このページについてはご覧いただくと言うことで割愛させていただきます。

では2ページより簡単に説明したいと思います。本年度は令和3年度から使用する中学校の全種目の教科書採択の年になっています。義務教育小中学校の図書の無償措置に関する法律に従って8月31日までに採択を完了しなければいけません。資料2ページの線をひいております1の採択の権限にありますように、採択の権限は公立学校にあっては地方教育行政の組織および運営に関する法律により、所管の市町村教育委員会に採択権があります。また義務教育学校の教科用図書の無償給与に関する法律により、共同採択が定められています。その旨が、資料3ページの下、3の共同採択というところになりますが、それ

ぞれの種目ごとに、地域内で協議をして同一の教科書を採択しなければならない、となっています。県内は8つの採択地区がありまして、その1つがこの津山地区です。10の市町村で構成されています。5ページを御覧ください。フローチャートになっています。教科用図書の採択の仕組（概要）です。10の教育委員会で構成されています。津山地区の教科書採択協議会が協議をしてそれぞれの種目で1種の教科書を選定をしていきますが、採択協議会は選定について意見を聞くために校長先生を中心とした選定委員会を組織します。なお、選定委員会は開かれた採択をするために、保護者の方にも加わっていただいております。選定委員会の下には教諭の先生からなる研究委員会を組織します。フローチャートの1番下の四角です。研究委員会は全教科書について調査研究をして、研究報告書を選定委員会に提出します。選定委員会はその報告を受けてさらに広い立場で調査研究を行い、意見を付した報告書を採択協議会に提出します。採択協議会では報告をもとに1種選定に向けての協議を行った後、一度それぞれの市町村に持ち帰り、それが本日の教育委員会になります。

各市町村教育委員会では協議を行い、その結果をまた採択協議会に持ち寄ります。それが8月3日に決まっています。持ち寄った結果をもとに最後に市町村教育委員会で1種採択をし、令和3年度から使用する教科書が決まるという流れです。真庭市は8月20日に予定されていますが、そこで正式に採択という形になります。

これまで5月11日に第1回の採択協議会がありました。それから教諭代表の研究委員会を3回、それから校長先生やPTA代表の選定委員会を2回開いて、その研究の成果がお手元に配布した分厚い「研究報告書」になります。

文科省が出している教科書編集趣意書、これは教科書会社が作成したものです。それから岡山県教育委員会が作成した研究資料、それから教科書展示場での意向書、そして教育委員さんに見ていただきまして、本日はここに展示をしてあるんですが教科書見本、これらをもとに作成された研究報告書が7月10日の第2回採択協議会で報告、協議をされました。では本日は研究報告書の説明を私の方からさせていただきます、この後ご協議をいただきます。1種選定のための協議についてよろしく願いいたします。

○橋本学校教育課長

経過報告についてはよろしいでしょうか。

○三ツ教育長

今までずっと研究してきてその研究の報告が上がってきているので、それをもとにしながら今日協議しましょうという話であります。

○橋本学校教育課長

それでは、これより1種選定のための協議に移ります。まず、研究報告書の説明を事務局よりいたします。

○秋元総括参事

研究報告書の順に従って説明をいたします。

国語についてです。国語は4社ありまして、まず東京書籍から説明いたします。東京書籍は主体的に学ぶ工夫や言語活動を意識した学びに工夫が見られます。今風の柔らかな絵を用いた表紙やキャラクターの使用、マンガの活用など、生徒の興味を引きやすい作りになっている特徴があります。続いて三省堂です。三省堂は生徒が自らの学びを系統的に振り返ることができます。また、小学校からの学びの接続を意識した教科書になっています。次は教育出版、教出です。全ての学年でSDGsを意識した単元を設定して、関連付けながら学習に導くという、今の時代の流れに合わせた内容になっています。QRコードを用いて教科書からインターネットを通じていろいろな情報にアクセスするという特徴もあります。続きまして光村図書です。光村図書は、今求められている力のひとつのコミュニケーション力を高める工夫として、「質問力」に重点を置いています。全体的に情報量がしっかりと確保されている教科書になっています。

この中で津山地区として、よりふさわしいのではないかと協議をされたものが、三省堂になります。2つめに紹介したものです。この三省堂は先ほどの特徴に加えて、各学年の見通しがわかりやすいということと、他教科との関連がしっかり明示されているということで、よりふさわしいのではないかとということです。次点として光村図書です。光村図書は先ほど言いましたが、情報量が多くしっかり丁寧に書かれています。やや情報過多の部分もあるのかなという判断で、最もふさわしいのは三省堂であるという報告であります。国語について、御質問、御意見ありましたらお願いいたします。

○三ツ教育長

こちらで進めればいいですか。

○秋元総括参事

はい。お願いします。

○三ツ教育長

研究報告は今いただいたとおりですが、実際の教科書を見られて素直な意見を聞かせていただければと思います。採択の権限は市町村教育委員会にあります。



#### ○常本委員

非常に、どちらもいい教科書だと思います。光村は文学に偏っているところが多いのかなという感じがしました。三省堂は文学、討論、古典等各部門バランスが非常に良くて一つひとつ読み応えのある文章が多いかなと思います。それから次の高校につながるうえで非常に教科書としてはいいレベルなのかなと思いました。

#### ○徳山委員

私も三省堂がいいなと思いました。全部読んだわけじゃないですけど、両方を読ませていただいて中学校時代を思い出すような感じがいたしました。光村の方が格調高いような感じがしました。私は小学校の問題解決的な学習にどう繋げていくかという観点で各教科を見ていきました。その意味では問題解決的な学習を工夫しているのは三省堂だったのかなと思います。特に学びの道しるべはいいなと思いました。光村の方は学習というところに少しだけ載せてありました。ただ専門の先生、ベテランの先生はかえって光村の方がやりやすいのかなと思ったのですが、若い先生も増えてきているので、三省堂の方が学習へ繋げやすい、問題解決的な単元を組んだりしやすいと思いました。

#### ○井口委員

私も全部読んだとは言えず専門的知識がないのですが、読んだ感じでは光村の方は読み物的な感じと、三省堂の方はその後続く現国の資料というか辞典的な意味があって続きやすいのかなとは思いました。

#### ○高谷委員

私は、専門的なことがわからないので、どちらの教科書もととても興味深く読ませていただきました。全教科に言えるのですが、自分の時より教科書のレベルが上がっていると感じ、中学生に戻ってみたい気がしました。私はどちらがいいかはわからなかったです。

#### ○三ツ教育長

という状況です。文法を見ると光村の方ががっちりしているのかなと感じました。ただ、おっしゃられたようにどのように学ぶかを強く意識している点では三省堂がいいかなと思います。コンテンツ一つひとつは光村はととても魅力的ですが、教科を横断して他の教科との関連を考えると三省堂の方が扱いやすいと思いました。ただ、1種選定というところで、皆さんの意見を尊重しながら国語は三省堂でよろしいですか。

○全員  
(異議なし)

○三ツ教育長

これで皆さん一通り話したので、後は意見があるところをどんどん出していただけたらと思います。続けてお願いします。

○秋元総括参事

はい、続けて書写です。書写は4社あります。まず、東京書籍は学習の見開き右端には学習課題と目標、これはどの教科書にもありますが、左端には「書写のかぎ」という書くときのポイントが示されているのがわかりやすい点です。また、行書の導入に特徴がありまして、4つのパターンを示して動きをわかりやすく示しています。続いて三省堂です。毛筆での学習を硬筆に活かせる構成となっていて「楷書と行書と使い分け」で、目的に応じた活用が設定されています。資料が充実しているところがあります。続いて教育出版です。教育出版は巻頭に学習内容をどう活かすのかについてわかりやすくまとめてあります。レイアウトが見やすく、「書写テストで確認」といった学びの定着を図るという工夫がされています。続いて光村図書です。「学習の進め方」があり、学習の流れがわかりやすく示されています。ただ学習のための資料や説明が不足していますが、「書写ブック」がそれを補っているという特徴があります。

以上、紹介した中で津山地区で最もふさわしいと報告があったのが東京書籍です。先ほどの説明に加えて、書写を学ぶ意義が初めに示されています。主体的に学びやすい構成となっており、行書の動きも視覚的にわかりやすく示されている点でよさがあるということです。次点として、教育出版です。見やすいレイアウトとなっていますが、手本の文字にやや癖があるという報告です。

○三ツ教育長

委員の皆さんから書写について何かありますか。1種ということで東京書籍という研究結果ですが、よろしいですか。

○全員  
(異議なし)

○三ツ教育長

では、書写については東京書籍ということできたいと思います。  
続いて地理をお願いします。

### ○秋元総括参事

社会科に移ります。まず地理です。地理についてまず東京書籍は教科書全体をとおして思考力、表現力を高める工夫が随所にあります。教科書全体が5つの大きな軸に沿って構成されており全体的なまとまりのよさが特徴です。続いて教育出版ですが、写真にオリジナリティーを感じさせるものが多く、生徒が興味関心を持って学習に取り組むことができる工夫がされています。続いて帝国書院については、教科書見開き2ページで1時間の設定となっているところが特徴で、導入部分で課題が設定されそれに対するまとめができるようになっていて、統計資料も新しいものを採用しています。続いて日本文教出版です。日文については、これも見開き2ページで1時間の授業を設定することができ、学習内容を整理したり、まとめたりする構成となっています。この中で津山地区としては3番目に紹介した帝国書院を最もふさわしいとしています。理由としては説明が大変丁寧であり、文字数は多いが教科書を読むとしっかりわかるということで子どもたちが自分の力で学んでゆける構成となっています。資料とグラフの配置が巧みであるということもあります。次点としては東京書籍です。写真が多いということもあるんですが、その分文字数が少なくその隙間を自分で埋めなくてはいけないということで、生徒が自分の力で学ぶという点では帝国書院の方がよいという報告です。

### ○三ツ教育長

地理についていかがでしょうか。

### ○徳山委員

帝国書院も東京書籍もどちらもいいなと思いました。帝国書院の方は、SDGsと関連させてやっていく流れや、地図と関連しながら学習へつながっていくところはよかったと思います。今全教科に言えることですが、主体的に学ぶというところに力を入れていて、東書の方はかえって内容が空いているというか見やすかったと思います。どちらでもいいと思います。

### ○常本委員

私も帝国書院の方がシンプルでわかりやすいし、ふりかえりでまとめがしやすい教科書だと思います。東京書籍の方はどの教科も内容が非常に充実している教科書が多いかなと思います。特に地理ではアクティブラーニングを意識した内容となっていると思います。授業でやるのであれば帝国書院がやりやすいと思いました。

### ○三ツ教育長

私も基本的には同じでした。SDGsについて考える場面が多かったというのが帝国書院で、真庭の地域課題に合致しているのかなと感じました。東京書籍の魅力に思ったところは、思考したり判断したりすることを促す構成になっているところだと感じました。真庭市としては1種は帝国書院ということによろしいですか。

### ○全員

(異議なし)

### ○三ツ教育長

続いて歴史をお願いいたします。

### ○秋元総括参事

それでは歴史です。まず東京書籍ですが、単元全体の「探求課題」をたてて1単位時間の授業ごとの「学習課題」、「チェック&トライ」という課題を追求しており、課題探求の解決補助としては「探求のステップ」、それから「まとめの活動」で解決するといった単元のまとまりを重視した紙面となっています。導入探求課題もよくまとまっている教科書になっています。続いて教育出版ですが、各章ごとに「学習をはじめよう」、それから章末のまとめ発展的学習を配置した構成となっています。つづいて帝国書院ですが、タイムトラベルという各時代の様子がイラストで紹介されているという点、それから本文の記述が、中央からだけではなく多角的な視点から学習できるように配慮されているという特徴があります。続いて山川については、ポイントを押さえるこつや発問やイメージをふくらませるためのイラストが用いられていることが特徴です。続いて日文ですが、1単位時間ごとの学習が、導入、学習課題、本文、深めよう、最後に確認という流れで構成されていて、求められる能力の定着と伸長に合致している、自分で考えるというコラムも多く取り入れた特徴があります。続いて育鵬社については、世界史の視点から歴史を捉えるための「この頃世界は」であったり、女性たちの活躍に注目した「なでしこ日本史」等特徴的な教材配置となっております。最後学び社ですが、各時代の特色を捉えるための資料を精選してページを作られています。章末にはふりかえり、部末にはまとめが設定されていて発展的な活動もできるような構成になっています。学び社については教科書採択地区でも数点しか見本が送られておらず、真庭には届いておりません。ご容赦ください。この中で津山地区としては日文が最も適しているのではないかとということです。日文は現行も日文を採用していますが、現行よりも精選されていてさらに使いやすくなっているということです。何より見通し

がしやすい配列になっていて生徒が利用しやすい、基礎から発展につなげやすい構成になっているとの報告です。次点として東京書籍です。東京書籍は導入から探求、課題までよくまとまっている構成です。また写真やグラフの内容については小学校との連携も図られているとのことです。ただ資料が豊富なのですが、注釈が少ないので読み取ることが難しいということで次点です。

#### ○三ツ教育長

歴史について御意見、感想等ありますか。せっかくメモしてくださっているのでどうぞ。

#### ○井口委員

私の感想は、歴史は現代から戻って勉強した方がいいと聞いたので、最後から見て戻っていったのですが、そうするとどちらかというと東書の方が詳しいかなと思います。東書の方が見開きなどが印象的ですが、どなたが教えても莫大な量のものを教えやすい、流れがつかみやすいという観点で選んでいただけたらいいと思うので、推薦されている日文でも意義はないです。

#### ○徳山委員

日文も東書も主体的な学びということでは、いいなと思いました。東書の方は資料がたくさんあって、領土とかアイヌの歴史とかも詳しく書かれていたと思います。ただ資料が新しくいいのですが、少しごちゃごちゃしていると感じました。それから日文の方は、教科書の右端に年表が付いていて、今どこの勉強をしているのかがわかりやすくなっていたと思います。私はそのことが苦手なので、今このあたりだということがわかりやすいかなと思いました。

#### ○常本委員

これはすごく悩みました。日文もとてもいいなと思ったのですが、領土問題などについてもわかりやすいと思います。でも私は東京書籍の方が使い勝手がいいかなと思いました。なぜかという、流れが短いというか、よく見た教科書というか、歴史の流れがすごくわかりやすい、それと古文書などの資料が多かったと思います。仏像とか一般的なものもありますが、少しそういう資料が多い感じでした。教科書というものはその教科だけを勉強するのではなくて、他教科とどうからんでいるのか、中学校を卒業したら社会人になっていくという完成形のところなので、いろんな事と教科書がつながっているということを思いました。そういう面では古典に触れるとかということで東京書籍の方がいいかなというのが私の感想です。

○高谷委員

歴史の教科書も本当にどちらもすごく興味深く読ませていただいて、見やすかったということでは甲乙つけがたいと思います。

○三ツ教育長

基本的に、僕も同じ感覚でした。多様な資料を上手に活用したり、情報を選んで活用するということを考えると東書の方がいいのかなと思いました。ただ單元ごとの学びがわかりやすかったり、その中でもコラムなどで自分で考える場所を設けていたりという点では日文の方が扱いやすいのかなと思ったりして、正直今迷っているという実情ですが、選定委員の推薦の方は日文ということですが、これについてはどうでしょうか。東書でないといけないということであれば意向としてまとめますが、日文の方でよろしいでしょうか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

では、そういうことでよろしくお願いいたします。続いて公民ですね。

○秋元総括参事

はい、続いて公民です。公民は6社あります。まず、東京書籍、東書ですが、章の「探求課題」、見開きの「探求課題」と、全体をとおして課題を意識するという特徴があります。見開きの「チェック&トライ」や章末の「探求のステップ」とまとめの活動につながっているということです。また、写真やグラフが使いやすく工夫されているという特徴があります。続いて教出ですが、SDGsを課題として全てがつながるという構成になっています。すべて見開きには関連用語がまとめられているという工夫がされています。続いて帝国書院ですが、イラストやマンガでの説明があったり用語の解説については見開きページになっていて見やすくなっています。ルビが大変多くなっているということで、合理的配慮が感じられる工夫がされています。続いて日文です。日文は見開きの「見方・考え方」、「アクティビティ」によって考える力を育成することができ、学びを深める工夫があります。章のまとめにはシンキングツールの紹介があり、学習をまとめることができるという作りになっています。続いて自由社です。自由社は学習内容が他分野や他教科、実社会の問題等と関連付けられてコラム形式に掲載されているので、思考の広がりが期待できる作りになっています。続いて育鵬社ですが、見開きでは「めあて」から「まとめ」まで流れに沿っての構成となっていて、生徒に見通しをもたせた授業の展開がしやすい作りです。

全体的に構成がどの会社も工夫されているのですが、協議会の中で津山地区で最もふさわしいのではないかと報告されたのが日文です。日文は先ほどの点に加えてグローバルな視点からの資料が大変多いというところが特徴です。また他と比べても全体の構成の中でも一連を意識した流れになっている、点字の実物が教科書に入っているというところが特徴となっています。次点として東京書籍です。東京書籍についてはデータの構成が工夫されているというところと、現在東書を採用しているということで使いやすさ、使い慣れているということですが、グローバルな視点について多少弱く、世界とつながった資料という点では日文の方に分があるという報告です。では御協議ください。

○三ツ教育長

はい、報告がありました。御意見をお願いします。

○井口委員

全体的にはどちらもいいということで、領土のことはどうだろうと思ったときに東書の方が詳しく書いていたかなと思います。昨今世界地図とか色々ある中で、日本の取り巻く近隣諸国とのニュースとかが気になるなと思いました。

○三ツ教育長

どちらがどうということではないですか。

○井口委員

はい。

○三ツ教育長

どうですか、よろしいですか。僕も正直どちらがどうというのは難しいんですが、7か国ぐらいの調査の中で、日本の若者の課題ということで社会を変えられることができると考えている若者が非常に少ないという統計結果があったと思います。そういった観点でこの公民の教科書を眺めてみると、自分たちの力で未来を描く、未来をひらくという内容については日文の方が前向きに書かれているという印象を受けました。ただ、それを自分事として思考しているかという、どうかなという感じはしましたが、そのような印象を持ちました。他の委員の皆さん、いかがですか。研究委員、選定委員の推薦の方は日文ということですが、そちらでよろしいでしょうか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

はい。では続いて地図帳をお願いします。この辺からスピードアップしないと時間足りなくなりますね。

○秋元総括参事

はい。地図です。地図は2社です。まず東京書籍ですが、使用されている地図や統計資料は歴史的分野や公民的分野の学習にも十分活用できるものになっているという特徴です。帝国ですが、絵地図と写真が効果的に使用されています。特に絵地図の色使いに関しては区別しやすく読み取りやすいという特徴があります。津山地区としては、最初の東書がふさわしいのではないかということです。理由としては、歴史的分野や公民的分野での活用という点に併せて地図を3年間使うものとして構成をされていて、地図帳を地理の時だけでなく歴史でも公民でも活用できるという点がよいという報告です。

○三ツ教育長

それでは地図帳、地図についてですが、御意見ありましたらお願いします。

○徳山委員

感想ですが、東書はA4でコンパクトで現場から要望があったのかなという気がしました。地図の見方も本当にわかりやすく説明してありました。問題解決に向けた学習に活かせる資料として工夫がしてあったと思います。帝国書院の方は大判で見やすいし、地図の活用というところで、自然、交通、産業、歴史、文化など様々なことが地図から読み取れるという強い主張が感じられました。地図はすごいんだという帝国書院の思いが伝わりました。それから防災の記述がありました。ただ学習に使えるのは東書の方かなと思いました。

○常本委員

東京書籍の方は資料が非常に豊富で非常に使いやすいものだとは思ったのですが、地理の帝国書院と地図がつながりがあった方がいいなら帝国書院の方が授業で使いやすいのかなという気がしました。今まで見てきた地図帳、一般的な地図帳が帝国書院かなと思いました。非常に使いやすいものだったので、私は帝国書院の方がいいかと思いました。

○三ツ教育長

意向としては分かれておりますが、どうでしょうか。



○秋元総括参事

一言よろしいでしょうか。先ほど常本委員からの御意見の中で、地理と地図が同じ教科書がいいのではないかとということも、選定委員、研究委員で検討された点でありまして、実は地理と逆の教科書を今選んでいるのは、両方の教科書会社ということで資料に広がりがあるのでということです。同じ教科書会社だと同じ資料を使っているところもあるということで、資料の広がりという点であえて別のものを選んでいるということでもあります。

○三ツ教育長

ということです。その点についてはですけど。

○常本委員

そういうことですか。

○井口委員

私はどちらかというと帝国書院の方にしるしをしているんですが、理由は災害関係などの地図がわかりやすく、最近問題になってきていると思いました。また、領土関係にしても帝国書院の方が詳しくあったかなと思いました。

○三ツ教育長

帝国書院の方がいいのではという意向が強いようですが、1種選定のための協議なので、うちの意向はうちの意向として採択協議会の方に持って行って審議しますから、どちらに転んでも大丈夫なのでそこは安心して議論していただければと思います。意見が割れていますが、意向としては帝国書院の方がいいのではないかとということでもいいですか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

では、地図についてはそういうことでお願いします。  
続いて数学お願いします。

○秋元総括参事

はい、数学です。まず東京書籍ですが、会話形式のイラストから文章が始まっていることがわかりやすいということです。また他教科や日常生活との関連をねらいとして、巻末に「数学の自由研究」が設けてあります。続いて大日本

ですが、生徒の聞く、話し合う、表現する、考える、教わるといった学習の流れが明確になるような構成になっていて、深い学びにつなげる工夫がされているということです。続いて学校図書ですが、説の末の「確かめよう」、章末の「深めよう」では関連内容や既習事項が確認できる工夫がされています。登場人物の吹き出しの発言で問題解決の過程を確認しやすくなっているという特徴があります。続いて教育出版ですが、「戻って確認」や学びに工夫があり、自主学习やふりかえりが行いやすくなっています。他教科や身近な事象との関連を取り上げています。続いて啓林館です。問題解決の過程では挿絵で示したり、「数学的な見方・考え方」を意識させる工夫があります。また「自分から学ぼう」等主体的・自主的学習を促す工夫が見られます。続いて数研出版ですが、既習事項の確認問題がきちんと設けられています。基礎・基本の定着への工夫として回答を示す例文、習得するための問題も交互に構成されています。続いて日文ですが、中学校での学習の移行をしやすくするため、小学校での既習事項をまとめたページが設けてあります。節の終わりには「基本の問題」の横側に学習の振り返りページ箇所や例題番号が記してあってふりかえりがしやすいという特徴があります。この中で最もふさわしいと報告があったのが東京書籍、東書です。東書は先ほどの点に加えて基礎・基本のための問題、応用問題がバランス良く載っているというところや個々の習熟に合わせた指導がしやすいということで、今岡山の授業5の流れに沿った構成というところが大きな特徴という報告です。次点としては日文ですが、日文も大変わかりやすい基礎基本と応用のバランスがあるのですが、構成の問題なのか、ややフォントが見にくいという報告があります。では御協議お願いします。

#### ○三ツ教育長

数学について、御意見をお願いします。

#### ○常本委員

感想なのですが、どの教科書も身近な事柄に結びつけて理解させようとするところが見られたと思います。日文の方は理解を中心とした内容が書かれていたと思います。東京書籍の方は、岡山県が目指している数学の方向性に非常に準拠した教科書だと思いました。両方比較してみて、演習問題が多い方かなと思いました。基礎基本で身についた数学の力を定着させるためには、演習問題をどんどんやっていくことが必要だと常々思っていますので、この教科書だけでなく、その力をどこで付けようとしているのかを想像しながら読ませてくださいました。

### ○徳山委員

東書は小学校からのつながりを工夫しているなと感じました。それから数学的な思考力を身につけさせるというのは、岡山県の授業5のことになると思いますが、ただこのやり方だとすごく時間がかからないでしょうか。きちんとやると授業時間が足りるのかなという心配をしました。それに比べると日文は結構シンプルな感じがしました。数学的な思考も発展で養うという形をとられていたと思います。確かに東書の方が数学的なことでいいとは思いますが、これを現場できちんとやっていったら授業時数がどうなるんだろうという思いがしましたので、私は日文が妥当な線だと思いました。

### ○三ツ教育長

いかがですか。僕も岡山県が好きそうな教科書は東書だと思いました。ただ美作地域の課題を考えたときに、もちろん発展的な学習も大事なんですけど基礎基本を一定程度重視して定着させていく、教科書だけの学びにとどまらず家庭学習につなげていくということのスタンダード化を進めているわけで、それをベースにやりつつ、その上に指導者がそれぞれの特色を描くという意味では東書でいいのかなと感じました。数学の専門家ではないですが、日文の方が数学の考え方とか意味による教科系統性を大事にしているので、そういう力がついていくと思いましたが実態と合わせて考えると東書かなと感じました。意見が割れたんですが、研究委員・選定委員の推薦の方向でよろしいでしょうか。

### ○全員

(異議なし)

### ○三ツ教育長

それでは、東書ということでよろしくお願いたします。

続いて理科をお願いします。

### ○秋元総括参事

それでは理科です。まず東書ですが、日常生活との関連について生徒同士がしっかり討論して思考を深めるよう設定してあります。続いて大日本は、「暮らしの中の理科」というコーナーで、日常生活や身の回りの現象とのつながりが紹介されています。続いて学校図書ですが、めあてを持たせるためのCan Do Listと、単元の振り返りには振り返りCan Do Listということで、単元ごとの課題とそれに対するまとめが簡潔に示されており、学習しやすい構成となっております。続いて教育出版ですが、説明が大変丁寧で小刻みな問いを設定してあり、生徒自らが学習しやすい構成となっております。続いて啓林館ですが、「学ぶ前に

トライ」という単元のはじめに単元を貫く問いを設定し、「学んだ後にリトライ」として単元の終わりに単元を貫く問いを考え直すことにより、単元をとおして学んだことを振り返る構成となっています。この中で津山地区として最もふさわしいとされたのが、学図、学校図書です。さきほどの Can Do List に加えて実験・観察の場面では、仮説・討論・実験・まとめという流れで進められています。また、危険事項については注意すべき事について、目を引く工夫がされています。次点としては啓林館ですが、先ほどの単元を貫くという点に加えて、「なぜその実験をするのか」という明確な動機付けがしてあり、実験中の事故防止のための注意事項も明確に示されていますが、学図の方が討論を意識している作りが特徴だということで、学図の方がふさわしいという報告です。以上御協議ください。

#### ○三ツ教育長

いかがでしょうか。研究委員・選定委員では学図、それから啓林館という順番のようです。御意見ありますでしょうか。

#### ○徳山委員

啓林の方ですが、単元をとおしてという流れがすごくいいなと思いました。特にめあてでもすごく工夫していて、「どのようにすれば謎の物質 X の正体を明らかにすることができるのか」など生徒が食いつきそうなめあてを工夫していて、単元の流れを示していると思いました。ただ1時間ごとのめあてがどこに記述してあるかよくわからなかったです。学図の方は、理科の取説などでうまく説明してSDGsにもつなげるということもあり、1時間ごとのめあてもきっちり明記してあり授業はしやすいと思いました。

#### ○常本委員

私は啓林館かなと思いました。子どもたちにとって、内容や挿絵が興味関心が高まるのは啓林館だったかなと思います。あとは先生方が、授業するうえでどちらが使いやすいかということでは、学校図書は学びを日常に活かすことがあったりしてとてもいいなと思いました。悩んだところですが、興味関心が高まるのが理科では必要なのかなと思い、啓林館と思いました。どちらでもとてもいい教科書だと思いました。

#### ○井口委員

私はどちらかというところ啓林館で、理由は身近なところから入っていることと最終的にまとめがついているというところからです。授業で行うとか1時間ごとの内容とかいわれると私はよくわかりませんが、教科書を見て取り組みやすい

のは啓林館かなと思いました。

○三ツ教育長

難しいですね。見て面白いとか知的好奇心を呼び起こすという点では啓林館の方が魅力的なのかなと思いました。でもどうやって学んでいくかとか、Can Do Listなどで何ができるようになったのかということを確認しながら学びを積み上げていくという意味では学図の方が使いやすいと思います。正直難しいなと思いますが、1種選定に向けて協議結果を持って行くという形ですので、大きなこだわりがなければ現場の教員の研究成果も尊重したいという思いもありますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

では、学図の方でよろしくお願いいたします。続いて音楽をお願いします。

○秋元総括参事

音楽は2社です。まず教出については、コンピューター音楽について音楽制作ソフトが紹介されていたり、楽譜が全部載せてあるということで発展的な学習に効果的であるということです。続いて教芸ですが、写真が効果的に使われており、曲の情景がイメージしやすいような工夫がされている、また日本の音楽について写真や説明が丁寧でわかりやすいという特徴があります。選定委員の報告では教芸の方が適しているということです。先ほどの説明に加えてページの左側にポイントとなる音楽の要素が示されているため、教材の内容と関連付けて理解できるという特徴があります。また見開きになっているということで、学習をしやすい、ポイントが見開きに示されているということで教芸の方が適しているという報告です。では、御協議ください。

○三ツ教育長

音楽についていかがでしょうか。教芸の方がという研究成果ですが、御意見ありませんか。よろしいですか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

それでは選定委員の報告のとおり教芸の方ということで、よろしく申し上げます。続いて器楽です。

○秋元総括参事

続いて器楽です。器楽も教出と教芸の2社です。教出については発展的な内容としてギターのタブ譜が付いていて、自主的な学習に興味関心がひかれるような工夫がされているということ、それから日本の楽器と外国の楽器を比較して学習しやすいように1ページに編集されているという特徴があります。続いて教芸ですが、落ち着いた色使いで説明をされていたり、写真がやはり効果的に使われており、意欲を引き出す工夫がされています。また、楽器の説明方法が図で示されており、具体的な指導がしやすいという特徴があります。選定委員としては、これも教芸の方がふさわしいという報告です。特に先ほども言いましたが、意欲を引き出す構成が随所にある、また演奏に必要な指使いなどがページの左端に統一して示されているということなど全体的な作りとして教芸の方がふさわしいのではないかという報告です。では御協議ください。

○三ツ教育長

器楽につきまして、御意見ありますか。報告のとおりでよろしいですか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

はい、それでは教芸ということでお願いします。続いて美術お願いします。

○秋元総括参事

美術は3社です。まず開隆堂ですが、学習の目標が題材ごとに3観点で明示されている、学年を追って学習内容が一目でわかりやすいような工夫がされています。続いて光村ですが、題材のはじめに対話が始まるような問いを示し、主体的に学習できるよう工夫がされています。題材ごとに国や地域や時代、具体的な手立て等掲載することで生徒が多様な価値観に触れながら発想を広げ、自分の表現に活かすことができるという特徴があります。続いて日文ですが、この教科書だけ3冊になっていて、各学年の学びのスタートに適した導入が設定されています。主体的な学びに向けての目標が3つの観点で明示されています。この3社ですが、津山地区としては2つ目に紹介した光村がふさわしいのではないかという報告です。特に表現と鑑賞が相互関係として一体化している

というところが特徴的です。教科書の中に材質の違う紙、トレーシングペーパーを入れていたりといった工夫がされているという特徴があります。次点としては3つめの日文です。日文は先ほどに加えて身近なマンガやアニメが使われているので学びと美術と実際の生活を関連付けて作成されているということですが、光村の方がよりふさわしいのではないかとこの報告です。では御協議お願いします。

○三ツ教育長

美術について御意見ありましたらお願いします。よろしいですか。私も表現と鑑賞をできるだけ一体化しようという工夫は光村の方があるのかなと感じました。選定委員の報告のとおりでよろしいですか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

では光村ということでお願いします。続いて保健体育です。

○秋元総括参事

保健体育は4社です。まず東書は1時間の学習課題の確認から活用まで見開きで構成されています。資料見やすく使いやすく主体的に学びやすいという特徴があります。続いて大日本ですが、「学習のねらい」から「活用して深めよう」まで1時間の授業の流れが見開きで構成されており、深い学びにつなげることができるという報告です。続いて大修館ですが、章のまとめで知識の定着を図る工夫がされていて、特集資料で発展的な学習に取り組めるようになっています。続いて学研ですが、「課題をつかむ」というところから「まとめる・深める」まで1時間の授業の流れが見開きで構成されていて、深い学びにつなげることができるという特徴があります。この4社の中でも、最も適していると報告を受けたのが東京書籍です。生徒が理解しやすい編纂であり、どの生徒にも学びやすい工夫が随所にされているという特徴があります。また、性の多様性とか対話的な学習も意識されているという点で適しているという報告です。次点としては大日本です。東書と同じく見開きでわかりやすい構成ですが、資料の活用がしづらいということです。

○常本委員

多くの方が東京書籍だろうと思います。学習内容が専門的で充実していますし、高校と変わらないようなレベルの内容だと思います。私はどちらかと言

えば学習全体が非常にわかりやすく明記された大日本の方がシンプルでわかりやすいかなと思いました。ただそのためには教師の力量が非常に求められる教科書なので年間何時間保健ができるかわかりませんが、やる上では色々な教材を選びやすいのが大日本かなと思いました。ただ専門的で充実している東京書籍なので、それでもいいと思います。

○三ツ教育長

同様です。考えたり議論したりするための資料が豊富で、自由度が高いのは大日本図書なのかなと逆に思いました。ただ東書は見つげるとか課題解決とか活用するとか広げるとか学びのプロセスがとてもわかりやすく扱いやすいと思いました。スポーツと共生社会実現という観点が東書はかなり明確に出ているので、そのあたりも評価すべき点なのかなと思います。選定委員の推薦は東書ですけれども、よろしいですか。常本委員、いいですかね。

○常本委員

はい。

○三ツ教育長

では、そういうことでお願いします。11時になってしまいましたね。あといくつですか。

○秋元総括参事

あと4つです。

○三ツ教育長

では、お願いします。ちょっと窓開けますね。

○秋元総括参事

続けて技術です。東書からですが、重要な点や押さえが必要な項目は、写真や図、イラストなどで視覚的に理解しやすい構成になっています。このことから文章が苦手な生徒も理解しやすいと考えられます。続いて教図、教育図書ですが、他2社にはないコンテンツが多数あり、写真も豊富で見やすく工夫がなされているということです。続いて開隆堂ですが、学ぶ側の視点に立った配慮がされています。さらにQRコードが單元ごとに用意してあり必要なページを検索しやすいという特徴があります。この3社の中で特に適しているという報告があったのが東京書籍です。東京書籍は先ほどに加えてQRコードで一括して読み込める工夫がされていて、既習の学習事項につなげて考えることができる、



また内容が豊富で使いやすい、全体を見渡して指導しやすいという特徴があります。次点は開隆堂です。開隆堂は単元の冒頭に考えてみようということで対話的な学習を意識した構成となっていますが、全体としては東書の方が使いやすいということで報告を受けています。それでは、御協議をお願いします。

○三ツ教育長

技術について、御意見ありますか。選定委員の報告でよろしいですか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

ではそのように確認させてください。続いて家庭をお願いします。

○秋元総括参事

はい、家庭科です。家庭科も3社です。まず東書ですが、全体的に写真やイラストが豊富に使われていて、視覚に訴える構成になっている、内容が充実していて生徒が興味を引くコンテンツが豊富であるということです。続いて教図、教育図書ですが、写真やイラストが豊富に使われています。また単元ごとに振り返りのコーナーが設けられていて評価しやすい構成となっています。続いて開隆堂ですが、これも写真を効果的に使っています。単元の最後のページのQ&Aで、それぞれ専門家の意見を参考にできる、SDGsやLGBTにも触れているということで、現代の社会問題についても役に立つという特徴があります。この3社で特に適していると報告があったのが東京書籍です。東京書籍は、自主学習について他の教科でもありましたが、生徒自身が主体的に学習を進められる工夫がされている、全体の構成がわかりやすいということです。次点としては開隆堂です。開隆堂も非常に資料が豊富なのですが、多少資料的な取扱方という点で、学習ということを考えたときには東書の方がふさわしいのではないかと報告です。では、御協議ください。

○三ツ教育長

家庭について御意見ありますか。報告のとおりでよろしいですか。

○全員

(異議なし)

○三ツ教育長

では、そのように確認させてください。続いて英語をお願いします。

○秋元総括参事

はい、英語です。英語は6社あります。まず東書ですが、各Unitのはじめに学習のゴールを示し、併せてCan Do Listを示すなど見通しを持って学習に取り組みやすい工夫がされています。また、5領域それぞれの活動が、豊富でバランスが良いという報告です。続いて開隆堂ですが、「Our Project」というところで4技能におけるパフォーマンス活動や、身近な日常会話の中で新出文法も扱っているというところで工夫が見られます。続いて三省堂ですが、文法のポイントをわかりやすく示していて、見開きで対応するドリルも掲載されていて練習しやすい工夫がされています。続いて教出ですが、レイアウトがシンプルで見やすい構成となっています。また自己表現や文法学習につながる学習の流れがコンパクトに提示されています。続いて光村ですが、ストーリー性が高く、一貫したストーリーの中で生徒が興味を持ちやすい内容の工夫がされています。続いて啓林館ですが、ペアワークやグループ活動で対話的な活動を多く取り入れ、深い学びにつながるよう工夫もされています。この6社のなかで最もふさわしいとされたのが東京書籍です。東京書籍は、5領域の活動が豊富で、教師が取捨選択できる活動が多いということで、自由度が高いということです。またこの教科書だけAB版ではなくA版となっているので、ページ数が少ないということが教える側の負担軽減につながるのではということ。次点としては三省堂で、豊富な内容で興味を持ちやすい、また長文理解を3ステップで押さえているというところが特徴的でわかりやすい構成となっているという報告です。総合的に東京書籍ということで報告を受けています。では御協議ください。

○三ツ教育長

英語について報告がありましたが、委員の皆さん、いかがでしょうか。

○井口委員

今回は私はどちらでもいいと思いますが、三省堂の方は習いやすくて、昔からの流れを受けている系統的な感じがするかなと思いました。東書の方は全体的に幅広くて楽しそうで、どちらかという東書の方が先生方の評判がいいのかなという印象がありました。

○三ツ教育長

よろしいですか。僕も正直英語はよくわからないところがあるのですが、ゴ

ールイメージなどは東書の方が持ちやすいのかなと、Can Do Listなども作っていますから。どちらがよいという話でなかったのも、選定委員の報告のとおりでよろしいですかね。

○全員  
(異議なし)

○三ツ教育長  
では、そのようにさせていただきます。続いて道徳をお願いします。

○秋元総括参事

はい、道徳は7社あります。まず東書ですが、題材末に示された発問により議論が深まる題材や、道徳的価値がわかりやすく伝わる題材が多く採用されています。続いて教出ですが、問いの形で示される題材テーマや題材の終わりにある「学びの道しるべ」に示される発問が、自分事として考えることができる具体的発問ということで、主体的な学びにつながりやすいという特徴があります。続いて光村ですが、全体がテーマを持った3つのユニットに分かれていて、指導者が教材のテーマを意識して指導できるよう工夫されています。続いて日文ですが、多様な視点から考える題材やモラルジレンマを扱うなど、生徒が自分の立場を決めて考えを深められるような工夫がされています。続いて学研ですが、題材ごとにキーフレーズが示され、生徒の理解を上手に助けているという特徴があります。続いて廣あかつきですが、定番教材やいじめ問題について深く考えるものから、生徒の関心が高いスポーツ選手を題材に取り上げるといった形で、自分自身のこととして深く考えることができるよう工夫されています。最後に日科ですが、読み物資料にこだわったシンプルな構成です。題材末の発問についても自分事として振り返りやすいものになっています。この7社の中で最も津山地区に適していると報告を受けたのが、教出です。教出については、発問が工夫されているところが1番にあげられています。教材の読み取りもしやすく、自分事としてどうとらえるか、題材をどう活かすかということで工夫がされていたり、題材自体も幅広い分野からとりあげられているところで、教出が適しているという報告です。次点としては光村ですが、見方を変えてみるという点が示されていて、深い学びにつながる構成となっていることですが、発問というところを重視して教出という報告になっています。では御協議ください。

○三ツ教育長  
道徳は採択してまだ間がないですよ。現行と変わるんですね、ここで。

○秋元総括参事

現行は日文です。

○三ツ教育長

ということであります。御意見をお願いいたします。

○常本委員

私は光村の方がいいなと思いました。というのも単元や題材ごとのまとめがしやすいと思いました。教育出版の方ですが、非常に充実した内容ではあるんですが、教材が豊富すぎるのかなという感じがします。光村の方は、見方を変えてというところが、特に社会生活を行う上で見方を変えるということが道德でもあればいいのかなと思いました。それで私は光村の方がいいかなと思いました。

○徳山委員

私も題材末の考えよう、見方を変えてつなげよう、広げよう、深めたいというのが光村の方であって、ここが考えを深めるのにすごくいいのかなと思いましたので、光村の方がいいのではないかと思います。

○井口委員

私も光村の方にしるしをしています。理由は最後の方に学びの記録ということ自分の考え方が記録に残せるのかなと思ったのと、そういうことを含めて考え方を整理しやすいと思います。教出の方は読み物としてはたくさんあって非常にいいなと思ったのですが、それぞれ感じ方が色々あって中学生で道德として教科として見たときには、色々あるのはいいのですがもうちょっと整理してもいいのかなという感じがしました。

○高谷委員

私はどちらというのは選べなかったんですが、皆さんの話を聞いて光村の題材末の部分、自分事として考えをまとめられるものが用意されているというのは、改めていいなと思いました。

○三ツ教育長

それでは意向としては、選定委員とは違う方向になりますが、真庭市としたら光村の方がいいのではないかという意向を協議会に持っていこうと思います。

これで全てですかね。では、教育委員会で現段階での選定状況をお願いします。

○秋元総括参事

それでは、真庭市教育委員会としての現段階での選定教科書の確認をさせていただきます。

まず国語は三省堂。書写は東書。社会の地理は帝国。歴史は日文。公民も日文。地図は帝国。数学は東書。理科は学図。音楽一般は教芸。器楽も教芸。美術は光村。保健体育は東書。技術は東書。家庭も東書。英語東書。道徳は光村。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

○三ツ教育長

それでは、1種選定のための協議は終了いたします。1種選定のための協議ということなので、これを基に協議会へ意見も含めて報告します。津山地区で採択というのは全部1種になりますので、今後の調整があるということはお知りおきください。では、続いて採択事務について事務局から説明してください。

○秋元総括参事

今後について説明します。8月3日10時30分より第3回採択協議会が開催されます。各教育委員会での1種選定の内容が報告されて、津山地区採択協議会として1種選定がなされます。その後、翌日8月4日から各市町村教育委員会を開催して正式に1種を採択するということになります。真庭市では8月20日に教育委員会を予定しておりますので、その際にはまた採択をお願いいたします。

○三ツ教育長

今後の日程について何かお尋ねがありますか。ではその他ありますか。

○秋元総括参事

はい、その他として開示請求についてお伝えします。9月1日以降に採択権を持つ各教育委員会にマスコミや出版社等が取材を求める可能性があります。なぜその教科書に決定したかという採択理由について問われる場合があります。その時には教育委員会で慎重に協議の上、総合的に判断した結果採択をしたと回答をします。教育委員会の責任において採択がなされたということを再度御確認いただきますようお願いいたします。

○三ツ教育長

それでは1種選定についての協議を以上で終了いたします。

続いて日程第5その他、委員の皆さんから何かありますか。よろしいですか。

1点「真庭市におけるコミュニティスクール推進の方向性と」という資料が付いていると思います。今日時間があつたら協議をさせていただけたらと思ったのですが、後の点検評価のことを考えると無理のようなので次回に送りたいと思いますが、今、真庭市教育委員会としてコミュニティスクールの推進を進めています。この間の経過であるとか、それに係る資料で別紙1・2を付けさせていただきます。とりわけ小学校の存続と地域の持続ということが非常に大きな課題となってきました。資料2の方を見ていただければ在籍数がどうなっていくのかわかると思うのですが、地域総がかりで子どもを育てていかなければいけないし、その中で地域も元気になっていかなければいけないというのが喫緊の課題で、また委員の皆さんと議論させていただいて、改めて方向性を明確にしていきたいと思います。この間の経過は扉のページに2番の経緯ということで書かせていただいております。次回議論できたらと思いますのでよろしくお願ひします。続いて事務局より、何かありますか。

○美甘教育総務課長

その他ということで、次回8月の日程は決まっておりますが9月の日程を決めていきたいと思ひます。同時期で同じ木曜日の17日がいいかなと思ひますが、この日常任委員会が予定されてはいますが、文教常任委員会があるかはわからないという状況です。翌週24日でもいいかと思ひます。その前の10日になりますと、議会の一般質問が始まりまして、この日は難しいかと思ひます。17日は常任委員会3日目なので多分ないと思ひますが、まだはつきりしない状況です。

○三ツ教育長

皆さん17日はお忙しいですか。同じ時刻でどうですか。ではそこは何とか頼んで文教外してもらいましょう。

では9月17日木曜日同じ時間9時半からということで御確認いただけたらと思ひます。ほかに事務局からありますか。

では以上で教育委員会を終了いたします。ありがとうございました。

一同礼

(午前11時25分 閉会)